

答えのない世界 中学入試は問う

2月1日から首都圏で本格化する私立中学入試の多様化が加速している。従来の教科に加え、思考力などをみるアクティブラーニング（AL）型や英語を選択できる学校が増加。大学入試改革も意識し、様々な能力を持つ子どもを受け入れたいという思惑がのぞく。

自ら考え議論…私立多様に

東京で3月に震災が起きた場合、避難所で起こる問題はどんなことか……。東京都立大学等々力（東京都）は2月の入試で初めてこんな問題を出す。新設する「思考力・協働力試験」の模擬問題だ。今月中旬、同校でこれらの問題を使った入試体験会があり、親子約140人が参加した。「数日間は食料が足りず、順番待ちで争いになるかも」「携帯電話の充電器を集めて、みんなで使うのはいい考え」。子どもたちは首都直下型地震の被害想定図や東日本大震災の体験記などをみて、グループで議論。学んだことを書いた。



東京都立大学等々力中の入試体験会。思考力・協働力試験の模擬問題に挑む子どもたち。東京都世田谷区

■特色ある私立中入試の例

桐朋女子（東京）	「あなたにとって『食』とは何か」について400字以内で書く
大妻中野（東京）	インドで撮影された、ドアがあいたままの満員電車の写真を見て、思ったことを400字以内で書く
日大豊山女子（東京）	10以上のテーマから一つを選び、校内の図書館やタブレット端末で情報を集めて文章や絵、図表を使ってまとめた後、口頭で発表する
鎌倉女子大（神奈川）	4コマ漫画を見て、吹き出しの考案に言葉を入れたり、内容を面接時に発表
東洋大京北（東京）	「ひみつ」という言葉について、相手の考えや意見を引き出す問いかけ文を考え、自分の意見も400字程度で書く

今年から導入されるもの。各校の模擬問題などから

入試改革では、知識を問う試験から思考力や表現力をみる内容に変える方向になっている。同校ではこうした力を育もうと、AL型授業を実践しており、入試でも計4回のうち1回で導入する。この試験で定員の約1割に合格を出す予定だ。正答はない。複数の教員が、資料を読み解いて考えたり、多様な意見を認めたりする力などを評価する。原田豊校長は「他人の意見を尊重しながら、クラスを牽引できるような人に入学会してほしい」と話す。

桐蔭学園（横浜市）も今年、「AL入試」を新設する。公表された問題例は「あなたが会社で、ハスの葉の性質を応用した新製品を開発する場合、レインコート、カバン、本のどれにするか」など。集団面接で答えを発表し、他の受験生の意見を聞いて気づいたことも書かせる。中学入試の模試を実施する首都圏模試センター（東京都）によると、従来の国語、算数、理科、社会の試験の枠を超えた入試は、一昨年ごろから目立つようになったという。今年には東京、神奈川、埼玉、千葉の1都3県の私立中約300校のうち109校が実施予定で、2年で倍増した。導入済みの学校は手応えを感じているようだ。聖学院（東京都）は昨年、ある国の降水量や米の生産量などの資料から、その国の問題と解決策を考えさせる問題を出した。「雨が降らない時期には、降るところに船

国際化英語も急増

一方、20年度から小学5、6年で英語が正式な教科になることもあり、入試に英語を導入する私立中も急増している。同センターの調査では、14年には1都3県で15校だったが、今年には87校と6倍近くに。帰国生入試の枠とは別に、英語が得意な子どもを早い段階で確保し、グローバル時代を生きる人材育成を狙う。各校が求める英語力は様々だ。1月20日の入試で初めて、社会・理科の代わりに英語を選べるようにした市川（千葉県）は、高校卒業程度とされる英検2級相当の問題を出題。麹町学園女子（東京都）は今年から、英語のリスニングと面接を盛り込んだ試験を設ける。語彙や文法の知識より、コミュニケーションをどうとらえる姿勢を評価し

で国ごと移動すればいい」と書いた受験生もいた。「学力試験では測れない発想力や自分で物事を解決する力を見ることができた」と清水広幸副校長は話す。首都圏模試センター教務情報部の北一成部長は「新しいスタイルの入試は定員確保のために始める傾向があったが、最近は整って受験対策をしていなくても能力のある子に入ってもらおうと、人気校にも広がっている。中学入試は今後さらに多様化し、『脱・偏差値』が進むだろう」とみる。

●この記事・写真等は朝日新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。